

大学名 愛媛大学(地域レジリエンス学環)

第67号 特集テーマ「大学と新しい学び」

表題 分野横断大学院教育により地域課題を解決する人材養成を目指す～令和5年4月:地域レジリエンス学環設置～

地域レジリエンス学環(修士課程)

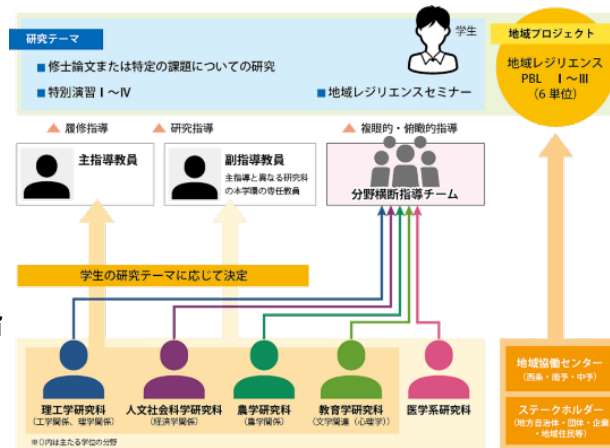
本学環は文部科学省が省令で定める「研究科等連係課程制度」を活用し、本学の5研究科の協力により、令和5年4月に設置します。

専門枠や実務・学術領域を超えて人と人、知と知をつなぎ、「レジリエンス」という言葉が意味する「復元力」「回復力」「しなやかさ」「強靭さ」「弾力性」の通り、南海トラフ大地震等の自然災害や少子高齢化等の急激な社会情勢の変化に対し、それを吸収しつつ、限界線を越えない範囲で、様々な集団間の相互作用により地域社会を存続させる力を向上(地域レジリエンスの向上)させる人材を育成するとともに、地域の幅広い分野へ輩出し、「VUCA(ブーカ: Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性))」の時代に「地域のレジリエンス向上」に寄与します。

特色ある取組

①研究指導体制

1人の学生に対し、研究テーマに応じて異なる研究科の教員の組み合わせとなるように主指導教員と副指導教員を配置し、履修指導及び専門的な研究指導を行います。



②5つの研究科による分野横断指導

全ての研究科から1人以上の教員で構成される「分野横断指導チーム」を設け、定期的に関催する「地域レジリエンスセミナー」において、学生の研究テーマに対する複眼的・俯瞰的な集団指導を行います。

養成する人物像

ICT・データ活用及びレジリエンス向上の素養と能力を身に付け、自然災害や少子高齢化が進む地域社会において持続可能な地域づくりに貢献できる人材

■募集人員：6名 ■専任教員：28名 ■学位：修士(学術)

地域のレジリエンス向上に資する愛媛大学の新たな「教育の柱」



連係協力研究科

主たる学位の分野に係る研究科

人文社会科学研究科 教育学研究科 理工学研究科 農学研究科 医学系研究科

修学者の幅広い専門性や意欲に対応できる全学的な教育体制

愛媛大学内の協カセンター

地域協働センター(西条・南予・中予)、データサイエンスセンター、防災情報研究センター

想定する入学者のイメージ

一定の専門性を修得済みであり、これに加えて、持続可能な地域社会の実現に役立つ人材となるために更に学びの幅を広げ、俯瞰力を身に付けたいと考えている人物

社会人
大学卒業

期待できる成果・評価 など

本学の全7学部の大学院に相当する5研究科すべてが参画し設置する地域レジリエンス学環では、理系的視点だけではなく、文系から理系まで幅の広い学術領域をベースとして、自然と人間の繋がりを見直し、住民による地域コミュニティも強化してResilientな地域社会構築への貢献が期待される。

参考URL <https://www.rr.ehime-u.ac.jp/>